

### 2023/03/04 “オールかいせい”で未来のまちづくり!



“オールかいせい”。現在の好環境を受け継ぎ、より住みやすい未来の開成町をすべての町民の皆様とともに創っていききたい、との思いを込めました。その心は、

- 老若男女、昔から住む方々も、開成町に移り住まわれた方々も、皆さんが声を寄せ、まちづくりに参画するオールかいせい。

まちのことを自分のこととして捉えていただくことで、まちへの思い

入れが深まり、郷土愛も強まり、誇りも感じていただけるようなまちづくりを理想像に掲げます。意見を寄せていただく機会を増やし、並行して“ファシリテーター(会議等の進行を支援いただく人)”の養成にも力を入れ、将来的には町民による町民のためのワークショップの開催も目指します。

- 開成町は農業振興地域と新興住宅地が同居、高齢化率が40%台の自治会と1ケタの自治会が同居するまちです。環境の違いや価値観の多様性を超えて、相互に理解し合う“オールかいせい”。
- 地域共生社会を実現するため、高齢者や障がいがある方々、生活が困窮している方々らを公的支援とともに地域住民で支え合うオールかいせい。
- 政策に関する議論は戦わせるべきであるものの、建設的でない政治的な対立はまちづくりを停滞させるリスクがあります。選挙後はノーサイド、皆が町民の幸せとまちの発展のために、前を向いてまちづくりを進めるオールかいせい。

みなさんと一緒に未来の開成町を創っていきましょう!

### 2023/03/04 図書館探訪

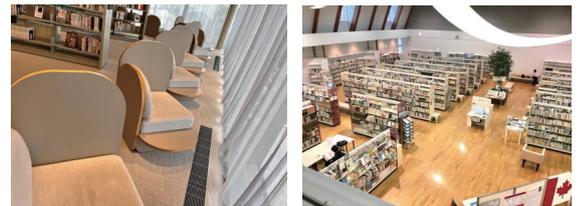
この2年間、全国各地の図書館を見て歩きました。開成町の図書環境の充実を目指し、そのヒントを探し求めるためです。

この20年間で、図書館は約1,300館・67%も増加、特に利便性に優れる駅近の分館が増えています。本離れが叫ばれる中で貸出数は約2倍に増加。電子図書館も461自治体が実施、この2年間だけで318自治体も増えました。

「教育の町・かいせい」として図書環境の充実は重要な課題です。本を借りるだけでなく、勉強や仕事、会議、展示会、くつろぎなどそれぞれの目的で、人々が集い、交流し、憩える居場所を目指します。

さらに需要のある施設として保育所や塾、医療機関、飲食店など同居することによって、多世代が行き交う地域の交流拠点となることでその価値を高める狙いです。

行脚の中で私なりに多くのヒントを得ていますが、“オールかいせい”で“おらが図書館”、町民お一人おひとりにとっての“私の図書館”を創りあげましょう!



日々の活動などを  
ブログ・SNS  
で更新しています!

後援会へ加入の  
ご案内

